

### 3. 福岡市内水環境における有機フッ素化合物の環境実態及び排出実態調査

環境科学課 宗 かよこ・小原 浩史  
平野 真悟・中牟田 啓子

#### 第45回日本水環境学会年会

近年、パーフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）に代表される有機フッ素化合物（PFCs）による汚染が問題となっているが、国内における環境実態および排出実態は十分明らかとなっていない。そこで本研究では、有機フッ素化合物15成分について福岡市内河川と博多湾の環境基準点および市管轄の下水処理場を含む、水質汚濁防止法に基づく特定施設（以下特定事業場という）における排出実態調査を行った。

環境実態調査の結果、環境水中のPFCs濃度および組成パターンは昨年と比較してあまり変化しておらず、高濃度の汚染は確認されなかった。また、排出実態調査の結果、各下水処理場の流入水および放流水中においてPFNAが最も高濃度で検出され、その他のPFCsについてはPFOS、PFOA、PFHxS、PFHxAが比較的高く検出された。さらに、他の特定事業場の排水からは、電気めっき施設を有する事業所や病院等でPFOSが比較的高く検出される等事業種毎に特徴あるデータを得ることができた。